# 東京ケーブルネットワーク株式会社
# 放送番組審議委員会議事録

開催日時　　平成２５年５月３１日
（１４：００～１６：００）

開催場所　　東京ケーブルネットワーク本社会議室

放送番組審議委員

委員長　（文京区）外山滋比古

委員　　（文京区）渡辺泰男、野掘勝明

（荒川区）小泉定弘、近藤利文

（千代田区）中村建夫、林　勇

（委員総数：７人）

当日出席委員

外山滋比古、渡辺泰男、野掘勝明：小泉定弘、中村建夫、林勇

（出席委員数：６人）

当日欠席委員

近藤利文

（欠席委員数：１人）

東京ケーブルネットワーク株式会社

| | |
|---|---|
| 代表取締役社長執行役員 | 棟田和博 |
| 取締役常務執行役員 | 藤田幸久 |
| 制作部次長 | 瀬間健司 |
| 制作部業務グループ長 | 大野寛子 |
| 制作部番組編成担当 | 松尾遼 |
| 事務局（書記） | 堀口真琴 |
| | 三山巌 |
| | 佐藤圭一 |
| 議事進行 | 田畑めぐみ |

## 議事内容

１．委員会開始の挨拶、番組審議委員、出席者紹介、配布資料説明

２．社長挨拶（棟田社長）

当社の取り組みについてのご報告

(1)　２月９日の停波事故は、皆さまも含めてご迷惑をかけたことをお詫びします。原因は、送出設備の停電が理由でした。現在は、電源二重化の工事などの対策を進め、既に終了しています。

(2)　２週間前１１、１０ｃｈのコミュニティチャンネルをＨＤ化しました。

(3)　地域で一番情報を発信する貢献度の高いものにするため、今後もますますコミュニティチャンネルを充実させる予定です。

(4)　本日９時にスカイツリーに送信所が切り替わる予定となっています。エリア内で問題があれば、すぐに対応可能な体制を整えています。

３．会社の現況についてご報告（藤田常務）

(1) 私どもの会社では３つのミッション、日本一のお客様対応、地域貢献度の高い放送、利益を上げることを掲げています。

(2) 地域で一番地元の情報を発信します。具体的には、あらぶんちょ通信の発行、地域との絆を深めるためにマスコットキャラクターのあらぶんちょくんを制作し、イベントに参加するなど、ますますお客様との絆を深めていきたい。

(3) 地域に貢献するべく、文京区において花の五大まつりに際し、小型カメラ、ＷＥＢカメラをそれぞれに設置しました。湯島天神の梅まつりなどでは、花の開花状況をインターネットで配信しました。このような努力もあり、花の五大まつりの協賛になりました。今年から可能なところではカメラを常設化しています。

(4) 今年で４回目となるフォトコンテストを実施。昨年は３０１の応募があり、応募資格を３区在住、在勤、在学としている。地域の方に受賞していただくという思いで、応募条件を設けています。

４．ハイビジョン化について（瀬間）

(1)　昨年７月には地デジ１０ｃｈの放送を開始しています。

(2)　弊社では、地デジＨＤ放送が４チャンネル放送されています。

(3)　これまで以上に自由度が増して、中継の放送なども行いました。

(4)　今後もより視聴者の方にご覧いただけるようにコミュニティチャンネルを充実していきます。

５．各制作部員より、下記の点についてご報告

(1) 放送番組内容、祭り、少年スポーツ大会などの放送実績について。（松尾）

(2) 地域情報誌（あらぶんちょ通信）の変更点、ＨＰのリニューアルなどについて。（大野）

６．各委員からのご意見・ご要望

外山委員長

オリンピックの開催が決まったらケーブルテレビでも盛り上げていただきたい。

世の中が変わってきてケーブルテレビは特別なものとなっている。

メディアの中でこれまで注目度は高くないと思っていたが、有料であるケーブルテレビとして何か受信者に対して普通とは違うサービスができるのではないかという気がする。

有料ならではの特色を出した方がいいのではないか。

携帯、スマホの登場はテレビにとっては大打撃ではないか。受け手が発信するという点でかわりつつある。若者を中心にだんだん発信側になりたいという願望が多くの人にある。今のメディアは受けるだけ。これからそういった点に取り組むべきではないか。

例えば、週に１０分でも構わないので、小学校の英語授業を補助してはどうか。

また、男が炊事をする必要が出てきたが、何を作っていいか分からないという話も聞く。献立などの情報や、近所の安売り情報を届けられないか。

地域の特色は町会がよく知っており、そちらのアプローチから進めるといい。

地元活動に熱心な人を味方につけて発信すればいいのでは、と思う。

楽しみだけでなく実益のある情報があるとよい。

中村委員

今回は神田祭を撮っていただきありがとうございました。

先ほどの話にもあったが、僕らが発信側にもなれた。

ただ、祭りの取り上げ方については、もう少し勉強してほしい。

林委員

質問　地域情報の発信は問題ないが、情報をどのように集めているのですか？取材したものを放送しないこともあるのですか？取材される側は放送してもらいたいと思うが、どのように選択しているのですか？

回答　基本的に取材したものはすべて放送しており、取材したものの、放送しないということはありません。

また、散歩の番組などカットする場合もあるが、すべてカットではない。

取材対象の選定は、週に一回会議を行い、地域の情報を精査。三区のバランスなどを考慮して決めている。

ご要望のあったお祭りはなるべくたくさん映したいと思っている。

渡辺委員

つつじまつりの取材はありがとうございました。

先ほどのあらぶんちょの件ですが、特集を組んでいただいて、取材を受けたら文京区の広報や産経新聞にも取り上げていただいた。とてもタイミングがよかった。（昨年の８月号にて日本酒「鷗外の郷」を紹介）

２月にはまた区報に載せていただいた。今後もよいタイミングで取り上げていただけたら区民の方に発売の情報などお知らせできると思う。

スカイツリーの方に電波が移ったということで、私も映りがよくなったように感じた。映りが悪いなら言ってください、などとくどくど言われると逆に不安になる。不安を煽るのはよくないと思う。

野掘委員

番組自体よく見ているが、いつハイビジョンになるのか聞こうと思っていた。さきほどすでになったということだったが、ハイビジョンになりましたという告知がそもそもなかった。番組を一生懸命作るというのはわかるが、見ている人は地上波よりも断然少ないのだから告知も大事ではないか？

ＥＰＧの情報が非常に少ない。もっと充実させてはどうか？

ＴＣＮがどんなにがんばっても、人数的に限界があると思うので、区や他社などに力を借りながら告知をしていくことが大切なのではないか。

口コミで知り合いに勧めるといいねと言ってくれている。口コミが大事である。

あらぶんちょ通信はこの一年、良くなっている。

一方、ＨＰはまだまだ頑張る余地がある。

制作に力を入れるのも大事だが、他社のメディアをもっと利用して告知をするべき。

小泉委員

あらぶんちょくんすごくよかったという印象。あらぶんちょという名前で呼ばれるようになったことはよいと思う。さきほど話があった写真コンテストだが、点数などの問題はあるが、見方によっては特色があるのかなと思う。地域性も、３区あるからいろいろ混在している。そこに住んでいる人、そういう人が対象になっている。応募する人たちも勢い、生活観がある、このような傾向がもっと強く出ると、続けていく意味にもなると思う。これからもどんどん応募してもらって、そういった点を強調した審査をしていくとよい。続けていくことが大切。いずれは充実した意味のあるものになると思う。ただきれいにということではない、勢いがあってのびのびとした作品が活路になると思う。

制作部員からの補足

ＨＤ化の告知については迷った。他の局では当たり前であるので、何を今更と思われることを危惧しました。ＨＰでは紹介したものの、アピール不足の感は否めない。

町会情報は、それぞれ収集してデータ放送で紹介している。

英語の授業の話は検討したい。

ＥＰＧは検討しています。

区民が発信者になるという研究は進めている。

大学の多い地域だから大学生の制作したものや高校生の制作などのものを放送していきたい。

７．閉会挨拶（棟田社長）

地域で一番地元の情報を発信する会社ということでがんばっていますが、これは負けないというものが欲しいと思っています。三区、千代田区はオフィス、荒川は下町など恵まれている文京区は大学などたくさんあり、どこもすばらしい環境にあります。恵まれた立地にあるのでそれぞれのいろいろな町会、住民の人がコミュニティチャンネルを通して、自分の存在を出せるようなものにしたいと考えています。

以　　上